

## 那珂川流域内小学校 62 校との環境教育を通じた連携

教育・研究

ボランティア

課外活動

地域交流

[ 代表者 ] 教育学部学校教育教員養成課程 3 年 小坏 卓嘉

### [ 連携先 ]

那珂川流域内の小学校 62 校

### [ 参加者 ]

外 憲志 (教育学部・4 年)

玉井 友香 (教育学部・4 年)

筒井 雅人 (教育学部・4 年)

萩原 由美 (教育学部・4 年)

濱田 和樹 (教育学部・4 年)

飯山 裕介 (教育学部・3 年)

石田 伸吾 (教育学部・3 年)

一家 佳織 (教育学部・3 年)

小坏 卓嘉 (教育学部・3 年)

澤村 優祐 (教育学部・3 年)

長山 真司 (教育学部・3 年)

### [ プロジェクトの成果 ]

本プロジェクトでは、「那珂川通信」と題する新聞を作成し、水戸市立中根小学校、同堀原小学校、教育学部附属小学校など、那珂川流域内の全 62 小学校にこれを送付する形で地域参画プロジェクトに参加してきた。

「那珂川通信」では、今年度は、「地域」と「生物」の二つの大きな項目を設け、班に分担して活動を行った。

「地域班」では、「那珂川について少しでも知ってもらおう」ことをテーマにして、那珂川の始まりと終わり、那珂川流域の川の名前や、過去に起こった災害などについて取り上げ、写真などを掲載してわかりやすいようにした。これらの記事によって、子どもたちが、自分たちの住んでいる地域が流域内のどこなのかがわかるようにした。また、水に着目して、那珂川流域にある浄水場、下水処理場の様子を紹介した。これらによって、子どもたちが、

同一の水源を共有して生きていけるという共同体意識を持たせることができた。また、1月号では、環境問題に注目して、那珂川流域の水の COD を測定した。これによって、流域内唯一の国立大学法人としての環境教育からの地域連携を行うことができた。

「生物班」では、もち米とうるち米の違いやアンコウ、栃の木など、月毎に植物と動物の記事を交互に作成した。例えばもち米では、うるち米との違いを成分や見かけの違いから説明するなど、身近にありながらあまり注目されていない部分を取り上げるようにした。また、栃の木の場合では、実を使って笛を作る方法を載せ、実際に栃の実を見つけたときに触れたり、遊んだり出来るような、生物と触れ合うきっかけになるような新聞になって欲しいという思いで作った。

新聞を作るに当たって、自分たちが実際に現場で体験・観察したことを元に、小学生の興味・関心の持てる内容を中心に新聞作りを行った。また、わかりやすくするために、写真を多く用いて説明を行った。